

## こころの相談外来を受診される皆様へ

### 受診にあたっての心づもり

当院では心の相談外来を原則緩い予約制で行っています。そのため予約から受診までにお待たせすることがあります。

大変申し訳ございません。

しかし、この受診までの時間を大切にいただければと思います。

### **子どもはなぜしんどいのか、何に苦しんでいるのか**

### **自分たちが困っていることは何なのか、心配なことは何なのか**

まずは一度整理してみてください。

そのためにご家族でゆっくり話し合いをしてみてください。ひょっとしたら何かいいアイデアが浮かぶかも。

お互いの気持ちのズレがはつきりすることもあるかもしれません。それはそれでいいんです。

大事なのはこれまでの子育てを振り返ってみることです。嬉しかったこと、しんどかったこと、いろいろあるかと思います。そしてもう一度、我が子が生まれたときの気持ちを思い出してください。

## 情報の整理を試みましょう

子どもがかかわっている人たち、例えば園や学校の先生、にも気になることを聞いてみてください。今度病院に行くから遠慮なく教えて欲しいと伝えるのもいいかもしれません。もし可能なら文書にしていいただければありがたいです。

これまでに行われたテストや通知表、連絡帳などのノートなども診察の一助になります。

既に発達センターやデイサービスに通われている人は支援計画や検査データも取り寄せてもらってください。

診察室の様子だけでは子どものことは分かりません。多面的、経時的な様子のアセスメントが必要です。

またこれらを整理し、ファイル等でまとめることは将来に向けても役に立ちます。

## 医療に何を求めるか

医療に何を求めるかを考えることも大事なことです。

実は医療にできることはあまりありません。一つは医師がやる仕事としてお薬を処方すること、公的な文書を作ること。

もう一つは家庭や園・学校で子どもどう接すればいいのか、一緒に考え方のヒントを見つけること。

中には周りから受診を強く勧められてイヤイヤ、渋々受診される方もいるかと思いますが。けど大丈夫、病院に来て損になることはありません。こちらはそのお気持ちにも応えていくつもりです。

## 実りある診療のために

だいたいの受診までの流れはご理解いただいたかと思います。

いくつか、お願いがあります。

限りある診療枠の中でやっております。**無断キャンセルは絶対にしないでください。**やむを得ない場合、必ずご連絡ください。

**頭が痛い、お腹が痛い、朝起きられない**等、身体の症状がある場合、予約の前に一度受診してください。

診断書が必要な方は予約の際お伝えください。作成には時間をいただいております。

病院はいつもお子さんの、ご家族の、味方です。

岡田病院 小児科

04-7145-0121

(このリーフレットの内容はあくまでも当院の見解であります。障害観は人それぞれです)